

紙智子参議、はたやま比例候補、高橋8区候補、紺谷函館市議 “大間原発の建設中止を” 5日電源開発本社に申し入れ



5日、電源開発本社で要請書を手渡す
左奥から、はたやま、紙、高橋、紺谷の各氏

青森県大間町の大間原発の建設再開の中止を求めて、紙智子参議とはたやま和也比例候補、高橋佳大8区候補、紺谷克孝函館市議が、5日電源開発株式会社と経済産業省に申し入れを行いました。電源開発で対応したのは、取締役常務の渡部肇史氏で、函館市に説明にきた人です。はたやま和也候補は「北海道と道南地方で上がっている建設中止を求める声は、一党一派のものではない」、「原子力規制委員会からも活断層調査の必要性が指摘されている」ことを述べ、繰り返し建設再開は認められないことを強く訴えました。高橋佳大候補と紺谷克孝市議は、函館・道南の住民の不安や怒りの声を伝え、建設中止を強く要求しました。



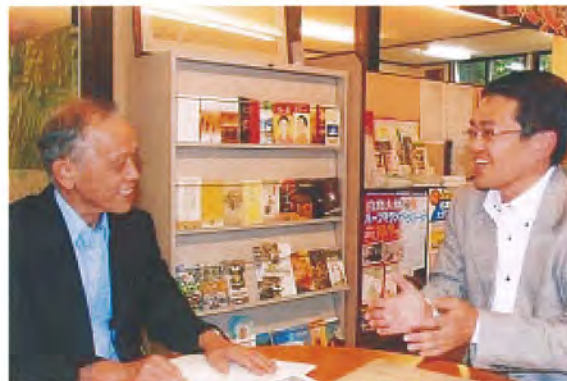
2日、札幌大通り公園の宣伝に参加したはたやま候補

建設中止を求め、宣伝にも参加

はたやま和也候補は2日、「大間原発の建設断念を強く求める」アピールを伝える宣伝行動に参加しました。このアピールは、「大間原発訴訟の会」「シャット泊」「ストップ！原発北海道」など6団体と、呼び掛けに賛同した全国の市民団体が1日に発表したものです。横断幕を持って、肉声で通行人に訴えました。

尖閣諸島問題で経済団体、観光業界・者に党の見解と提言示し

はたやま和也比例候補は、尖閣諸島問題の解決について党の見解と提案を持って各界を訪問し、懇談をつづけています。訪ねた定山溪観光協会山田事務局長は「中国からの観光客を増やしたいと思っている矢先のこと。旅行業者もこの問題が早く解決してほしいと願っています。日本共産党が解決のために提起しているのはまさにそのとおりです。もめていても両国にとってなにもメリットはない」と党の提言に共感を示しました。また、ある旅行業者は、「社の3割～4割が中国との関係で、来年以降の計画がたてられないし、いまキャンセルが相次いでいます」と困惑し、党の見解と提言の内容を聞いて、「まったくそのとおりです」と賛同し、党への期待が述べられました。



28日、定山溪観光協会山田事務局長と懇談するはたやま候補